

海老江海岸(射水市)での漂着物調査の様子(9/12)

富山県と(財)環日本海環境協力センター(NPEC)では、漂着ごみの実態を把握するとともに、参加者の皆様に海を守ることの大切さを理解していただくため、日本、中国、韓国、ロシアの沿岸自治体と連携して「海辺の漂着物調査」を実施しています。

9月12日は海老江海岸で約100名の皆さんが漂着物調査に熱心に取り組みました。
当日は真夏日になりましたが、暑い中、ありがとうございました。

【参加者】 射水市立東明小学校(5年生)、射水市、富山県、NPEC職員

【調査結果の概要】

100m²あたりの漂着物平均個数は141個(うち、「プラスチック類」の割合が82%(116個)と最大)

100m²あたりの漂着物平均重量は1,023g(うち、「その他の人工物(木類)」の割合が50%(509g)と最大)

漂着物調査の様子



海岸清掃

漂着物問題に関する意見交換

